

2020年 詳説世界史 復習テスト

～ 第09講② 西洋史 §36 ～

1 戦間期の西欧諸国 (関連用語正誤問題) *間違えている用語を正しく書き換えなさい。 8問

- ① 民主党ハーディング大統領が孤立主義を提唱、KKKが復活し、WASPが生まれた。
- ② フーヴァー大統領が「永遠の繁栄」を唱えた年、作りすぎ～物価高騰～失業者増大から金融恐慌が発生した。
- ③ イギリスでは、マクドナルド保守党内閣は24年にソ連承認、29年には単独内閣を作った。
- ④ フランスでは、外相クレマンソーの活躍で対独協調外交をとるようになり、ソ連承認・不戦条約などの中心となった。
- ⑤ ヴィルヘルム2世がオランダに亡命し、新政府が成立、これに対し、エーベルトを中心にスパルタクス団が蜂起した。
- ⑥ 1919年に成立したドイツ共和国では、ヴァイマル国民議会で新憲法を制定、共産党を第一党とした。
- ⑦ イタリアでは人種排斥主義が横行し、サッコ=ヴァンゼッティ事件が起きた。
- ⑧ アイルランドは1922年にアイルランド自由国となったが、北部7州のアルスター地方は英領のままだった。

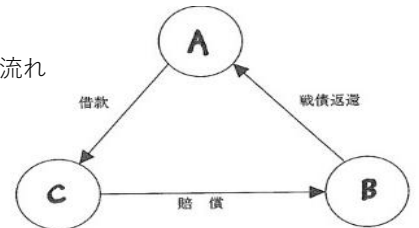
2 賠償問題について (空欄補充) 8問

(ア)年、フランスはドイツ賠償金不履行を理由に、(イ)を誘ってルール出兵を行った。これに対して、ドイツ共和国政府はルール工業地域の労働者にストライキを要請し、抵抗を試みた。その結果、生産量が激減し、物不足が生じ、大インフレが発生した。時のドイツ首相(ウ)は、その対策として(エ)とよばれる紙幣を発行し、貨幣量の削減を図り、ドイツは奇跡の復興を果たす。その後、フランスは対独協調策へと政策を変更、アメリカの提案で(オ)案(1)を採用、25年には(カ)条約を結び、ドイツは翌年国際連盟に加盟することになる。しかし、世界恐慌が発生すると、31年に1年間の支払い猶予を認める(キ)が出され、その後、賠償金は減額されるが、ヒトラー内閣の誕生で破棄されてしまう。

問1 空欄ア～キにあてはまる用語を答えなさい。

問2 波線部(1)について、(オ)案におけるドイツと主要な戦勝国間の賠償支払の流れを説明したものである。図のA～Cにあてはまる国を下の語群から選びなさい。完答。

【 ドイツ ・ アメリカ ・ イタリア ・ フランス 】



3 独立した東欧諸国の動向 (地図問題)

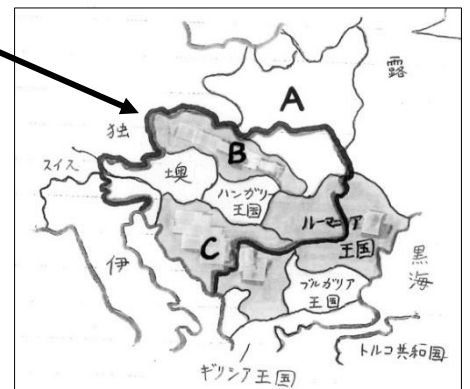
大戦前の境=ハンガリー帝国領土

※地図中A～Cには国の名前が入る。 4問

- ⑰ 隣国ソヴィエトと戦った地図中Aの国の指導者の名前を答えなさい。
- ⑱ 地図中Bの国の初代大統領の名前を答えなさい。
- ⑲ 1918年に成立した、右の地図中Cに位置する国で最も対立する2つの民族名をそれぞれ答えなさい。

【特別問題】女性参政権を獲得した順番に並べて！

イギリス・アメリカ・ドイツ・ニュージーランド



1		2		3		4	
5		6		7		8	
ア		イ		ウ		エ	
オ		カ		キ		国名	A: B: C:
17		18		19		特	

2020年 詳説世界史 復習テスト(解答)

～ 第09講② 西洋史 §36 ～

1 戦間期の西欧諸国 (関連用語正誤問題) *間違えている用語を正しく書き換えなさい。 8問

- ① 民主党ハーディング大統領が孤立主義を提唱、KKKが復活し、WASPが生まれた。
- ② フーヴァー大統領が「永遠の繁栄」を唱えた年、作りすぎ～物価高騰～失業者増大から金融恐慌が発生した。
- ③ イギリスでは、マクドナルド保守党内閣は24年にソ連承認、29年には単独内閣を作った。
- ④ フランスでは、外相クレマンソーの活躍で対独協調外交をとるようになり、ソ連承認・不戦条約などの中心となった。
- ⑤ ヴィルヘルム2世がオランダに亡命し、新政府が成立、これに対し、エーベルトを中心にスパルタクス団が蜂起した。
- ⑥ 1919年に成立したドイツ共和国では、ヴァイマル国民議会で新憲法を制定、共産党を第一党とした。
- ⑦ イタリアでは人種排斥主義が横行し、サッコ＝ヴァンゼッティ事件が起きた。
- ⑧ アイルランドは1922年にアイルランド自由国となったが、北部7州のアルスター地方は英領のままだった。

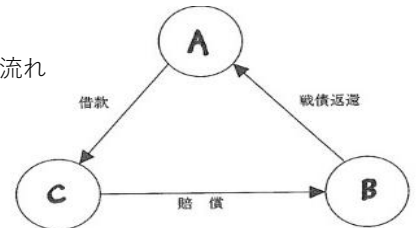
2 賠償問題について (空欄補充) 8問

(ア)年、フランスはドイツ賠償金不履行を理由に、(イ)を誘ってルール出兵を行った。これに対して、ドイツ共和国政府はルール工業地域の労働者にストライキを要請し、抵抗を試みた。その結果、生産量が激減し、物不足が生じ、大インフレが発生した。時のドイツ首相(ウ)は、その対策として(エ)とよばれる紙幣を発行し、貨幣量の削減を図り、ドイツは奇跡の復興を果たす。その後、フランスは対独協調策へと政策を変更、アメリカの提案で(オ)案⁽¹⁾を採用、25年には(カ)条約を結び、ドイツは翌年国際連盟に加盟することになる。しかし、世界恐慌が発生すると、31年に1年間の支払い猶予を認める(キ)が出され、その後、賠償金は減額されるが、ヒトラー内閣の誕生で破棄されてしまう。

問1 空欄ア～キにあてはまる用語を答えなさい。

問2 波線部(1)について、(オ)案におけるドイツと主要な戦勝国間の賠償支払の流れを説明したものである。図のA～Cにあてはまる国を下の語群から選びなさい。完答。

【 ドイツ ・ アメリカ ・ イタリア ・ フランス 】



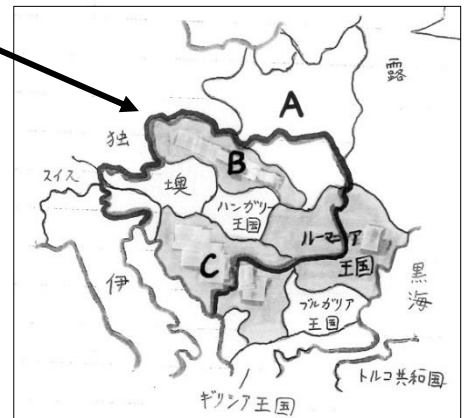
3 独立した東欧諸国の動向 (地図問題) 大戦前の境=ハンガリー帝国領土

※地図中A～Cには国の名前が入る。 4問

- ⑰ 隣国ソヴィエトと戦った地図中Aの国の指導者の名前を答えなさい。
- ⑱ 地図中Bの国の初代大統領の名前を答えなさい。
- ⑲ 1918年に成立した、右の地図中Cに位置する国で最も対立する2つの民族名をそれぞれ答えなさい。

【特別問題】女性参政権を獲得した順番に並べて！

イギリス・アメリカ・ドイツ・ニュージーランド



1	民主党 → 共和党	2	物価高騰 → 物価下落	3	保守党 → 労働党	4	クレマンソー → ブリアン
5	エーベルト → カールリープクネヒト	6	共産党 → ドイツ社会民主党	7	イタリア → アメリカ	8	7州 → 6州
ア	1923	イ	ベルギー	ウ	シュトレゼマン	エ	レンテンマルク
オ	ドーズ	カ	ロカルノ	キ	フーヴァー＝モラトリアム	国名	A:アメリカ B:フランス C:ドイツ
17	ピウスツキ	18	マサリク	19	セルビア人とクロアチア人	特	ニュージーランド → 英 → 独 → 米